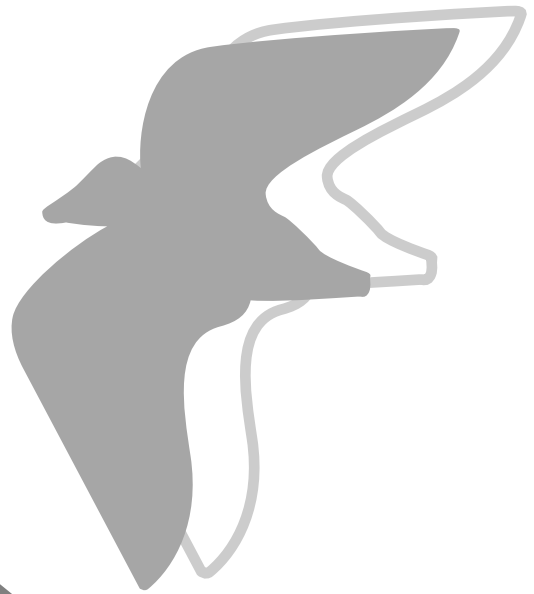

RISO Printer Driver

リソープリンタドライバ取扱説明書
for RZ6/RX6 Series



RISO

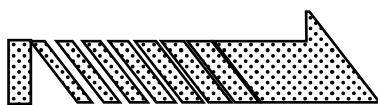
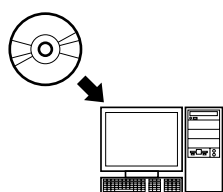
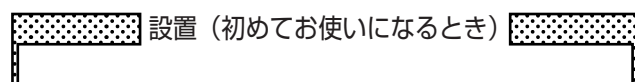
はじめに

「RISO Printer Driver」は、当社製印刷機専用のプリンタドライバです。
本書では、プリンタドライバの基本操作をはじめ、さまざまな機能の使い方を、
記述しています。また、巻末にトラブル対処法を記述しています。
ご使用になる前に、またご使用中、不明な点があるときにお読みいただき、本製品
とともに末永くお役立てください。

- Windows®, Windows Vista™ は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- RISORINC® は理想科学工業株式会社の日本国内における登録商標です。
- 本文中に記載されているその他の製品名・会社名は、各社の登録商標または商標です。
- 本文中に記載されている画面および内容は、実際の商品と若干異なることがあります。
- 手順の中で紹介している画面表示やメッセージは、パソコンの機種やアプリケーションにより異なります。

プリントするまでのながれ

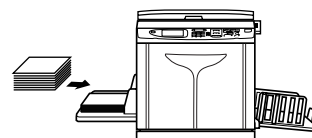
印刷機を初めてお使いになるときは、下の設置手順を行ってください。
設置後は、基本操作の手順を行うことでプリントすることができます。



プリンタドライバをインストールする

RISO Printer Driverをパソコンに導入します。P.7

- 接続方法により、あらかじめ、パソコンと印刷機を接続しておく必要があります。



1. 印刷機の準備をする

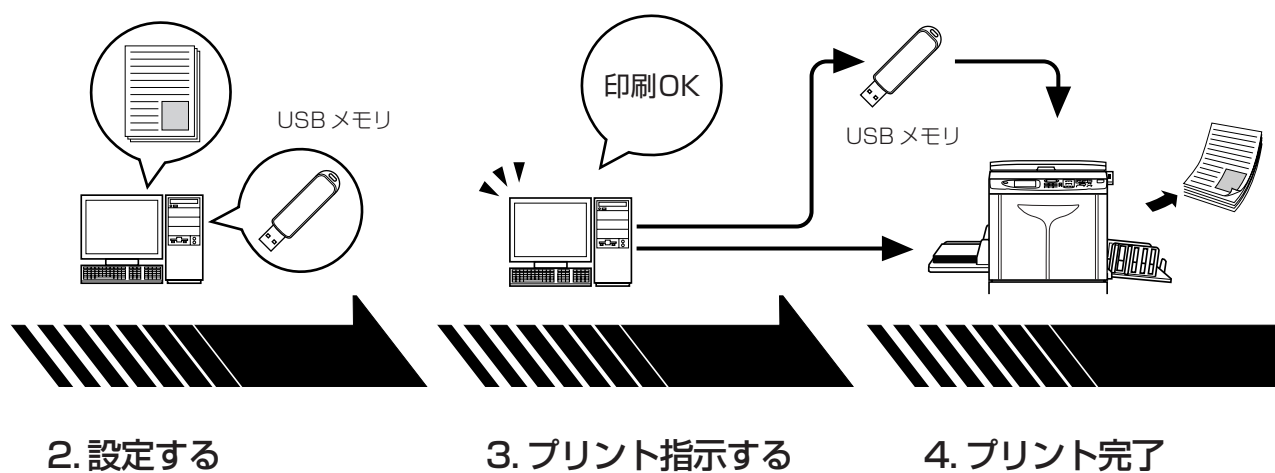
印刷機を準備し、プリントする原稿データに合ったサイズの印刷用紙を給紙台に載せます。

- 印刷機の準備方法は、印刷機の取扱説明書をお読みください。

対応 OS について

本プリンタドライバは以下のOSに対応しています。
Windows 2000/XP/Vista

基本操作



プリントしたい原稿データをパソコンで開き、通常版プリンタドライバまたはUSB メモリ用プリンタドライバを選択し、印刷するために必要な設定を行います。

USB メモリを使用してプリントする場合は、USBメモリをパソコンに接続します。

パソコン上の[印刷] ダイアログボックスでプリント指示を行うと、データが印刷機に送信、またはUSB メモリに出力し保存されます。

印刷機がデータを受け取り、製版・印刷をします。

USBメモリを使用してプリントする場合は、USBメモリを印刷機に接続します。

接続方法とプリンタドライバの種類について

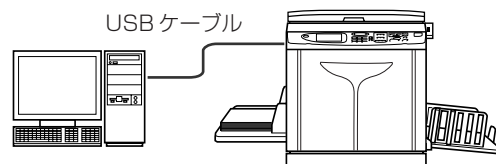
パソコンと印刷機がケーブルで接続されている場合はもちろん、ケーブルで接続されていない場合でも、USBメモリを使用することで、パソコンで作成した原稿データを、直接、印刷機でプリントすることができます。原稿データを直接デジタル処理するので、プリントの仕上がりが鮮明です。

どのプリンタドライバをインストールするかは、お客様の環境に合わせてお選びください。

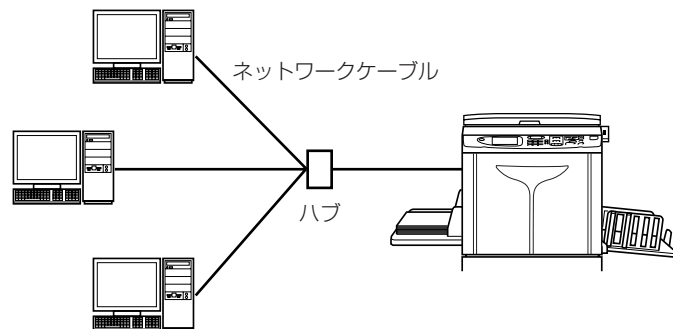
■ケーブルで接続する環境

以下の環境では、通常版プリンタドライバを使用します。

● USBケーブルで接続する場合

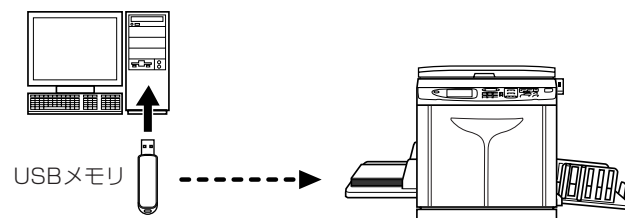


● ネットワーク接続する場合



■ケーブルで接続していない環境

原稿データを出力(保存)したUSBメモリを印刷機に接続してプリントします。



参考

印刷機とパソコンをケーブルで接続している環境でも、USBメモリを使用してプリントすることができます。

もくじ

はじめに	1
プリントするまでのながれ	2
接続方法とプリンタドライバの種類について	4
もくじ	5
プリンタドライバのインストール	7
■ USB ケーブル接続の場合	8
プリンタドライバをインストールする	8
■ ネットワーク接続の場合	15
ケーブルを接続する	15
プリンタドライバをインストールする	16
■ USB メモリ出力の場合	26
USB メモリについて	26
プリンタドライバをインストールする	26
専用フォルダを作成する	32
テストページを印刷する	33
操作のしかた	35
■ 使用環境に合わせて登録する	36
■ プリントのしかた	39
RISO Printer Driver の	
[プロパティ] ダイアログボックス	40
■ [プロパティ] の設定方法	42
[メイン] タブ	43
[イメージ処理] タブ	51
[その他] タブ	53
■ RISORINC 形式ファイルを作成するには	56
レイアウト機能使用時の	
RISORINC 形式ファイルの作成方法	57
プリンタドライバのアンインストール	59
■ プリンタドライバをアンインストールする	60
プリンタドライバの手動インストール / 手動アンインストール	63
Windows 2000/XP 編	64
■ 手動インストールについて	64
USB ケーブル接続の場合	64
ネットワーク接続 / USB メモリ出力の場合	65
■ 手動アンインストールについて	66
Windows Vista 編	67
■ 手動インストールについて	67
USB ケーブル接続の場合	67
ネットワーク接続 / USB メモリ出力の場合	68
■ 手動アンインストールについて	69
こんなときには	71
■ パソコン上でメッセージが表示されたら	72
■ 「故障？」と思ったとき	73
[印刷できないとき]	73
[印刷結果が正しく得られないとき]	75
[その他]	77

プリンタドライバのインストール

ここでは、インストーラを使用したプリンタドライバのインストール方法を記述しています。

- パソコンと印刷機をUSBケーブルで接続する場合は、「USBケーブル接続の場合」(P.8)をお読みください。
- ネットワーク経由で接続する場合は、「ネットワーク接続の場合」(P.15)をお読みください。
- USBメモリを使用してプリントする場合は、「USBメモリ出力の場合」(P.26)をお読みください。

■ USB ケーブル接続の場合	8
プリンタドライバをインストールする	8
■ ネットワーク接続の場合	15
ケーブルを接続する	15
プリンタドライバをインストールする	16
■ USB メモリ出力の場合	26
USB メモリについて	26
プリンタドライバをインストールする	26
専用フォルダを作成する	32
テストページを印刷する	33

■ USB ケーブル接続の場合

プリンタドライバをインストールする

ここでは、パソコンと印刷機をUSBケーブルで接続して使用する場合の、Plug&Play 対応プリンタドライバのインストール方法を記述しています。

(手動インストールの方法については、[P.63](#)以降をご覧ください。)

重要

- プリンタドライバのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント(Administratorなど)で、Windowsにログオンしておく必要があります。
- 本プリンタドライバを動作させるには、以下の環境が必要です。
 - メモリ：Windows 2000の場合 … 128MB 以上
 - Windows XPの場合 …… 192MB 以上
 - Windows Vistaの場合 …… 512MB 以上
- サーバOS、プリンタ共有には対応していません。

Windows Vistaの場合

バージョンアップや、ケーブルの接続方法を変更した場合など、同じ機種(シリーズ)のプリンタドライバを再度インストールする場合は、ドライバパッケージを削除する必要があります。インストール済みのプリンタドライバを手動でアンインストールしてからインストールを実施してください。[手動アンインストールについて]([P.69](#))

0

重要

USBケーブルの接続は、指示があるまで行わないでください。

1

「RISO Printer Driver」CD-ROM をパソコンにセットする

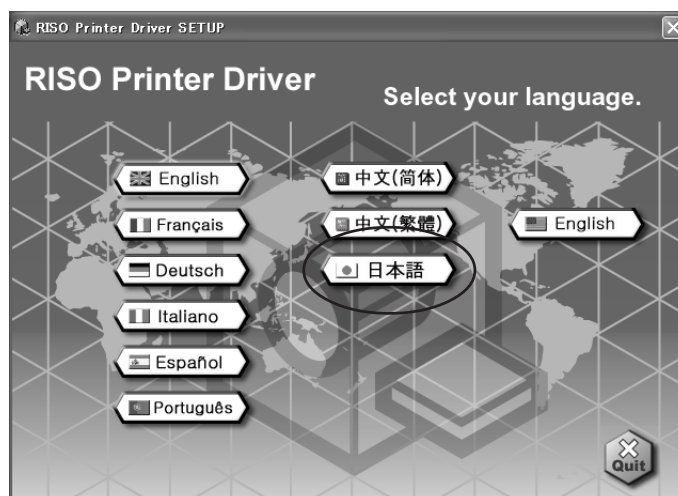
インストーラが起動します。インストーラが起動しない場合はCD-ROM内の「SETUP.EXE」ファイルをダブルクリックしてください。

参考

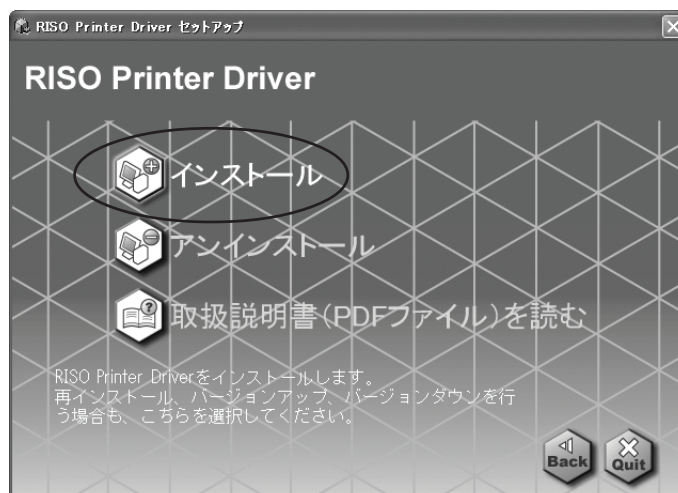
「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示された場合は、[許可]をクリックしてください。(Windows Vistaの場合)

2

[日本語]をクリックする

**3**

[インストール]をクリックする

**4**

[次へ]をクリックする



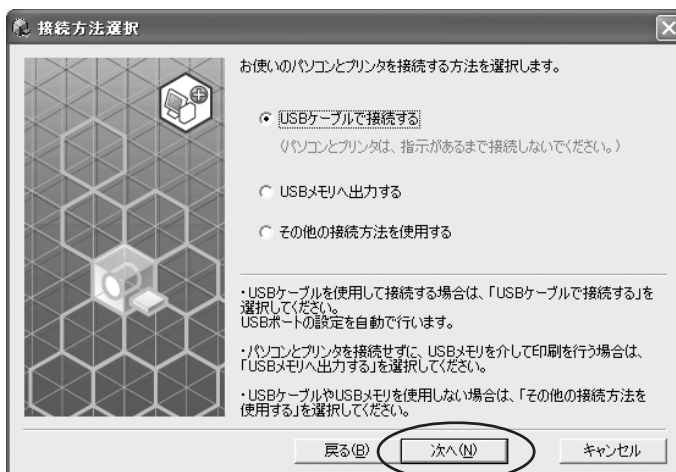
5

[USB ケーブルで接続する]を選択する

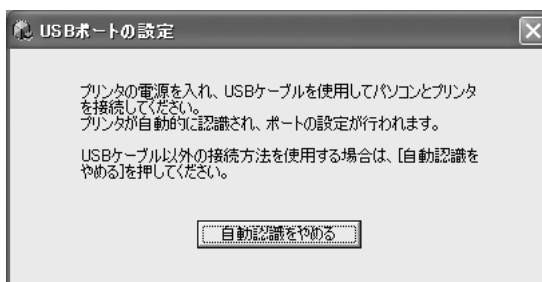


6

[次へ]をクリックする



[USBポート設定]ダイアログボックスが表示されます

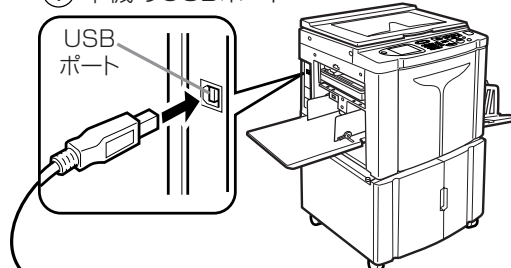
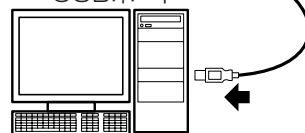


7

印刷機の電源を ON にする

8**印刷機とパソコンを USB ケーブルで接続する**

市販のUSBケーブル(3m以内、Hi-Speed USB規格準拠品)をご使用ください。

① 本機のUSBポートへ**② パソコンのUSBポートへ****9****接続した印刷機の機種名を選択する**

10

[次へ]をクリックする



参考

Windows 2000/XPをお使いの場合、選択したドライバがすでにインストールされているときには、[インストール方法]ダイアログボックスが表示されますので、[次へ]をクリックしてください。



11

[次へ]をクリックする

プリンタ名を変更することもできます。



12**[インストール]をクリックする****参考**

[デジタル署名](Windows 2000の場合)、[Windows ログ認定テスト](Windows XPの場合)または、[ドライバソフトウェアの発行元を検証できません](Windows Vistaの場合)のダイアログボックスが表示された場合は、インストールを続行してください。

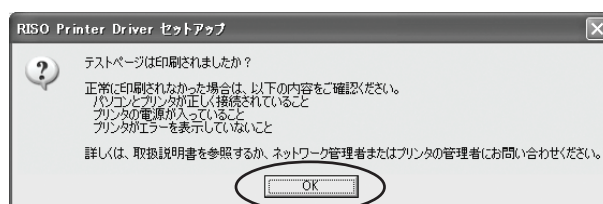
13

「テストページを印刷しますか？」と表示されるので、[はい]をクリックする

印刷機にはあらかじめA4用紙をセットしておいてください。

**14**

テストプリントが正しく印刷されたことを確認し、[OK]をクリックする



15

[ReadMe を表示] をクリックする

ReadMeが表示されます。ご使用にあたっての注意事項が記載されていますので、必ずお読みください。



16

[終了] をクリックする

プリンタドライバをご使用になる前に、必ずパソコンを再起動してください。
[今すぐ再起動する]にチェックを入れておくと、[終了]をクリックした後にパソコンが再起動されます。



参考

[新しいハードウェアの検出ウィザード]が表示されている場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

17

パソコンから「RISO Printer Driver」CD-ROM を取り出す



重要 取り出したCD-ROMは、大切に保管してください。

■ ネットワーク接続の場合

ケーブルを接続する

印刷機とパソコンをLANケーブルで接続し、ネットワークプリンタとして使用するには、オプションのRISO Network Cardが必要です。

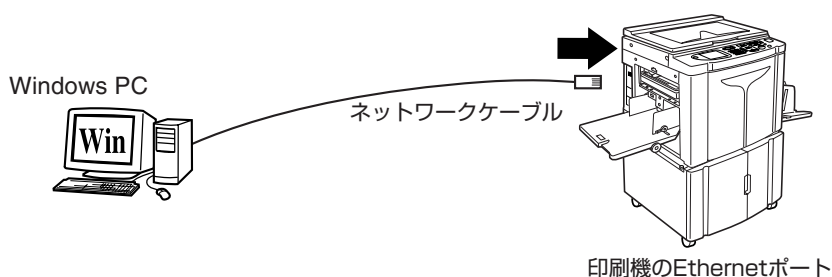
あらかじめ、「RISO Network Card取扱説明書」(RISO Network Card CD-ROMに収録)をお読みにになり、印刷機との接続およびIPアドレスなどの設定を行ってください。

接続にはお使いの環境に合わせて、市販のEthernetケーブル(10BASE-Tまたは100BASE-TX用)をお使いください。

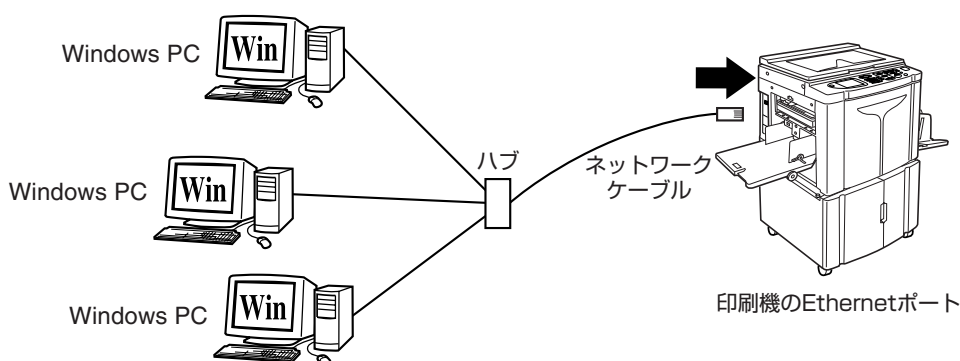


重要 Ethernetケーブルは、カテゴリー 5 (または 5 以上)と明記されているケーブルをお使いください。

1 台のパソコンと接続するとき



ネットワーク経由で接続するとき



プリンタドライバをインストールする

ここでは、パソコンと印刷機をネットワーク経由で接続して使用する場合の、プリンタドライバのインストール方法を記述しています。

(手動インストールの方法については、[P.63](#)をご覧ください。)



重要

- プリンタドライバのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント(Administratorなど)で、Windowsにログオンしておく必要があります。
- 本プリンタドライバを動作させるには、以下の環境が必要です。
 - メモリ: Windows 2000の場合 … 128MB 以上
 - Windows XPの場合 …… 192MB 以上
 - Windows Vistaの場合 …… 512MB 以上
- サーバOS、プリンタ共有には対応していません。

1

「RISO Printer Driver」CD-ROMをパソコンにセットする

インストーラが起動します。インストーラが起動しない場合はCD-ROM内の[SETUP.EXE]ファイルをダブルクリックしてください。

参考

「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示された場合は、[許可]をクリックしてください。(Windows Vistaの場合)

2

[日本語]をクリックする



3

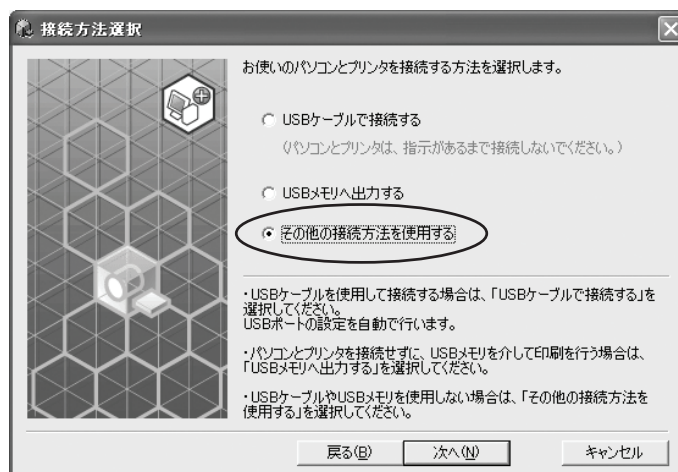
[インストール]をクリックする

**4**

[次へ]をクリックする

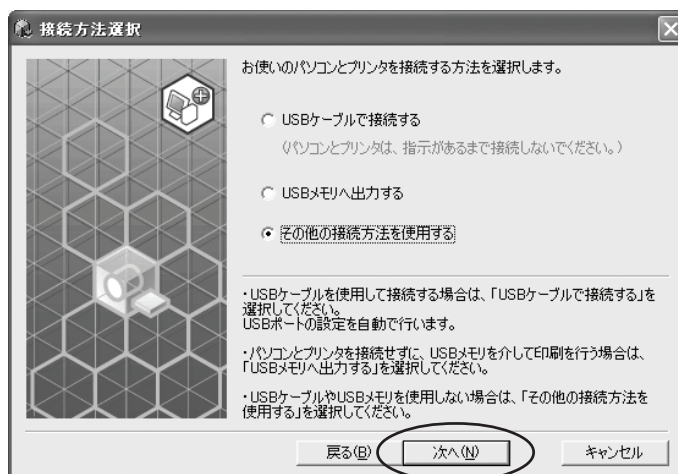
**5**

[その他の接続方法を使用する]を選択する



6

[次へ]をクリックする



7

接続した印刷機の機種名を選択する



8

[次へ]をクリックする



参考

選択したドライバがすでにインストールされている場合は、[インストール方法]ダイアログボックスが表示されますので、[次へ]をクリックしてください。

**9****ネットワークポートを追加する**

① [ポートの新規作成]を選択し、[Standard TCP/IP Port]を選択する

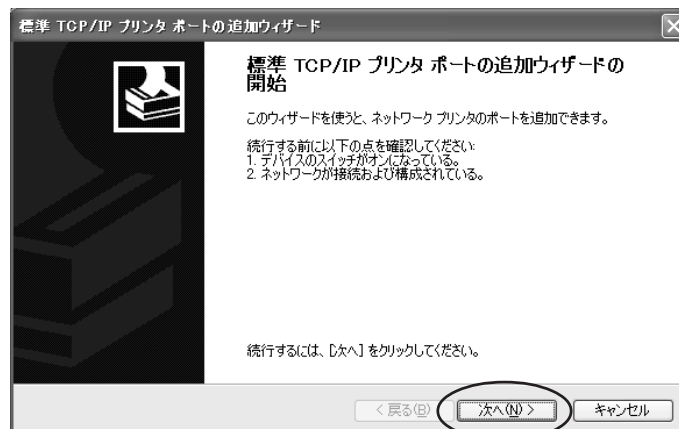


② [作成]をクリックする

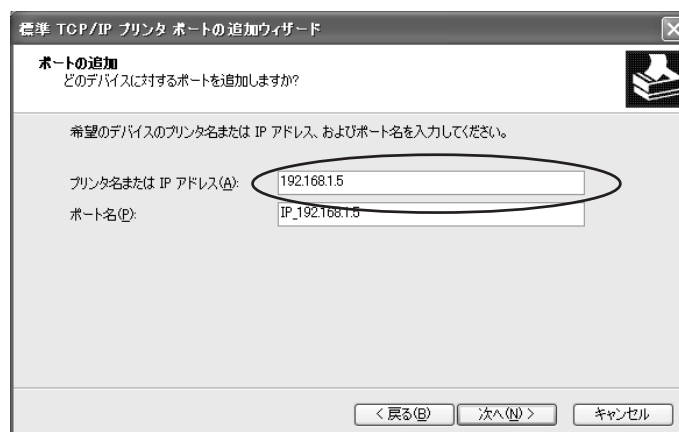
[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]ダイアログボックスが開きます。



③ [次へ]をクリックする



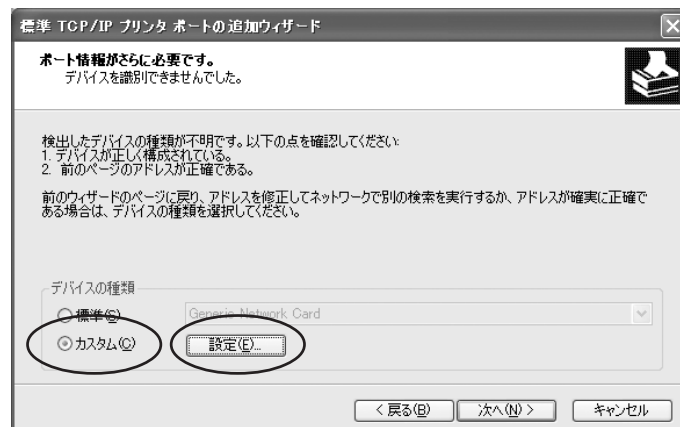
④ 印刷機のIPアドレスを入力する
ポート名は、自動的に入力されます



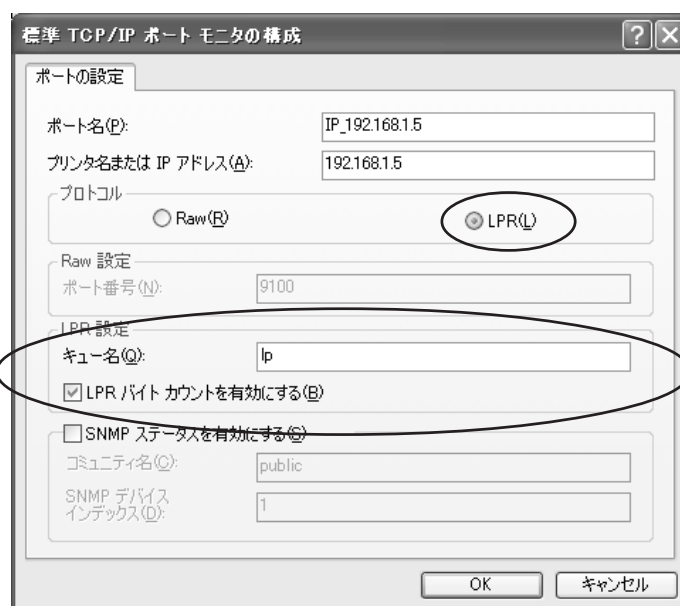
⑤ [次へ]をクリックする



⑥ [カスタム]を選択し、[設定]をクリックする



⑦ [プロトコル]の[LPR]を選択し、[LPR設定]の[キュー名]に半角小文字で「lp」（エル・ピー）と入力して、「LPRバイトカウントを有効にする」にチェックを入れる。

**重要**

「LPRバイトカウントを有効にする」にチェックを入れておかないと、画像が正しくプリントされないことがあります。

参考

前記は「RISO Network Card」を利用の際の手順となります。市販のプリントサーバやプリントサーバOSを利用してのネットワーク接続については各メーカーの取扱説明書の指示に従ってください。
LPR機能の追加後は再起動を要求されますので必要なデータ等は保存した上で作業を行ってください。詳しくはWindows 2000/XP/Vistaの取扱説明書またはヘルプに従ってください。

⑧ [OK]をクリックする

標準 TCP/IP ポート モニタの構成

ポートの設定

ポート名(P): IP_192.168.1.5

プリント名または IP アドレス(A): 192.168.1.5

プロトコル

☐ Raw(R) ☒ LPR(L)

Raw 設定

ポート番号(N): 9100

LPR 設定

キュー名(Q): lp

☒ LPR バイト カウントを有効にする(B)

☐ SNMP ステータスを有効にする(S)

コミュニティ名(C): public

SNMP デバイス インデックス(I): 1

OK キャンセル

⑨ [次へ]をクリックする

標準 TCP/IP プリント ポートの追加ウィザード

ポート情報がさらに必要です。
デバイスを識別できませんでした。

検出したデバイスの種類が不明です。以下の点を確認してください:

1. デバイスが正しく構成されている。
2. 前のページのアドレスが正確である。

前のウィザードのページに戻り、アドレスを修正してネットワークで別の検索を実行するか、アドレスが確実に正確である場合は、デバイスの種類を選択してください。

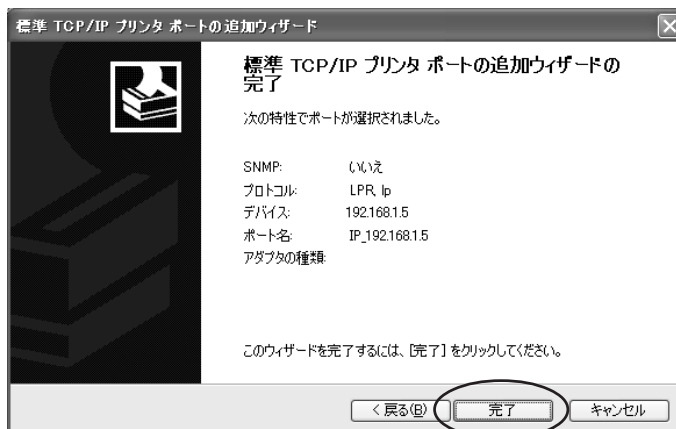
デバイスの種類

☐ 標準(S) Generic Network Card

☒ カスタム(C) 設定(E)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

⑩ [完了]をクリックする



10

[次へ]をクリックする

プリンタ名を変更することもできます。



11

[インストール]をクリックする



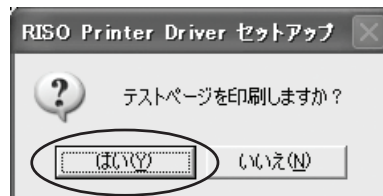
参考

[デジタル署名](Windows 2000の場合)、[Windows ログ認定テスト](Windows XPの場合)または、[ドライバソフトウェアの発行元を検証できません](Windows Vistaの場合)のダイアログボックスが表示された場合は、インストールを続行してください。

12

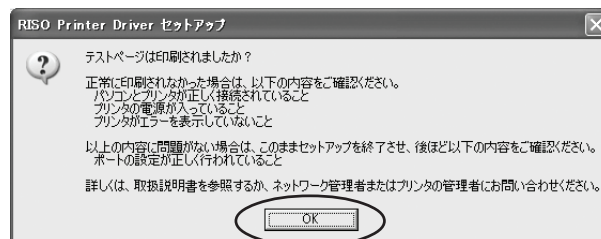
「テストページを印刷しますか？」と表示されるので、[はい]をクリックする

印刷機にはあらかじめA4用紙をセットしておいてください。



13

テストプリントが正しく印刷されたことを確認し、[OK]をクリックする



14

[ReadMeを表示]をクリックする

ReadMeが表示されます。ご使用にあたっての注意事項が記載されていますので、必ずお読みください。



15

[終了]をクリックする

プリンタドライバをご使用になる前に、必ずパソコンを再起動してください。
[今すぐ再起動する]にチェックを入れておくと、[終了]をクリックした後にパソコンが再起動されます。



16

パソコンから「RISO Printer Driver」CD-ROMを取り出す

重要

取り出したCD-ROMは、大切に保管してください。

■ USB メモリ出力の場合

USB メモリについて

- マスストレージクラスに対応したUSBメモリをご使用ください。ご使用のUSBメモリの種類によっては、正常に動作しない場合があります。
- USBメモリを接続または取り外す際は、正しい方法で、ゆっくりと抜き差ししてください。
- 天災や不測の事態により、USBメモリデータが損傷した場合、USBメモリ内に保存されているデータの保証はいたしかねます。重要なデータは、作成元のパソコンでバックアップをとっておくことをお勧めします。

プリンタドライバをインストールする

ここでは、USBメモリを使用してプリントする場合の、USBメモリ用プリンタドライバのインストール方法を記述しています。

(手動インストールの方法については、[P.63](#)をご覧ください。)

重要

- プリンタドライバのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント(Administratorなど)で、Windowsにログオンしておく必要があります。
- 本プリンタドライバを動作させるには、以下の環境が必要です。
メモリ: Windows 2000の場合 … 128MB 以上
Windows XPの場合 …… 192MB 以上
Windows Vistaの場合 …… 512MB 以上
- サーバOS、プリンタ共有には対応していません。

1

「RISO Printer Driver」CD-ROM をパソコンにセットする

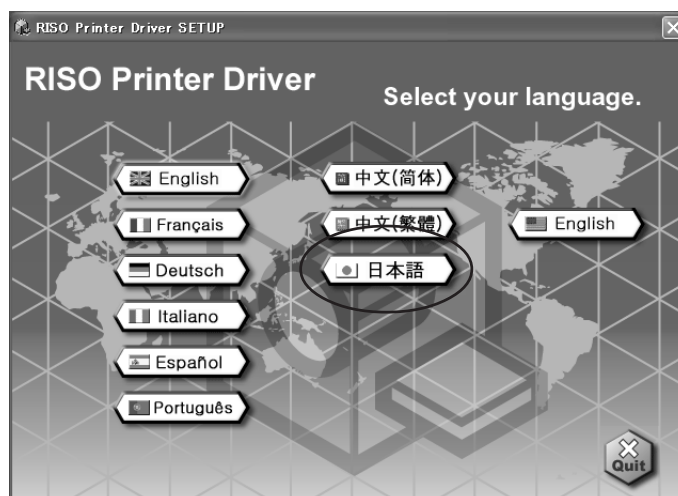
インストーラが起動します。インストーラが起動しない場合はCD-ROM内の「SETUP.EXE」ファイルをダブルクリックしてください。

参考

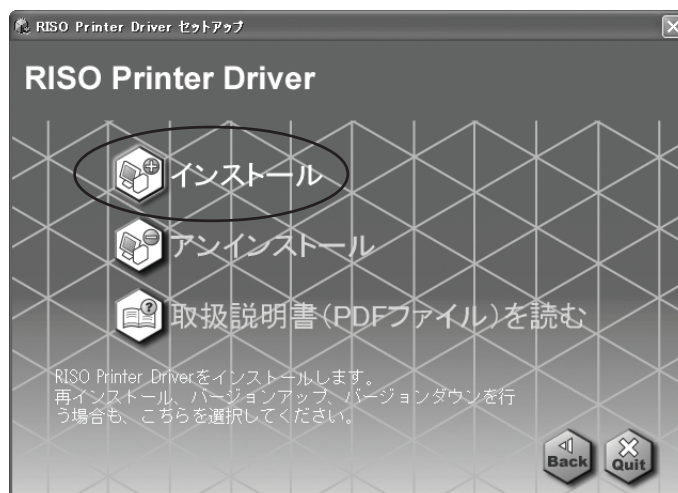
「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示された場合は、[許可]をクリックしてください。(Windows Vistaの場合)

2

[日本語]をクリックする

**3**

[インストール]をクリックする

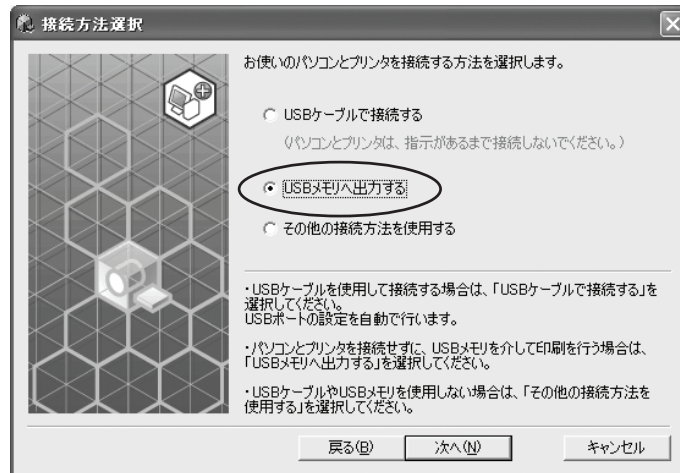
**4**

[次へ]をクリックする



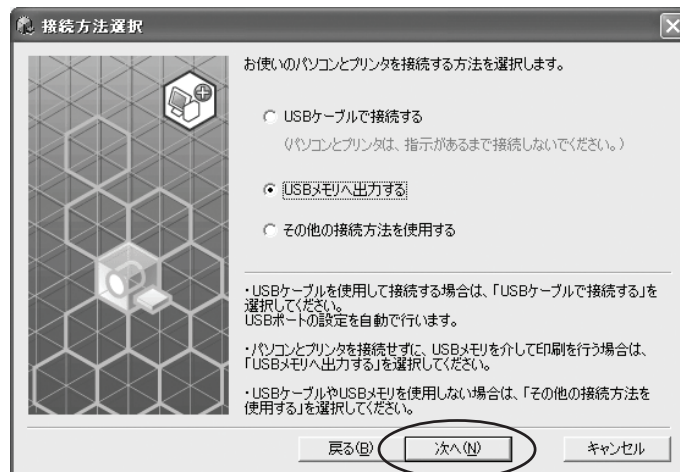
5

[USB メモリへ出力する]を選択する



6

[次へ]をクリックする



7

印刷機の機種名(USB メモリ)を選択する



8

[次へ]をクリックする



参考

選択したドライバがすでにインストールされている場合は、[インストール方法]ダイアログボックスが表示されますので、[次へ]をクリックしてください。



9

[次へ]をクリックする

プリンタ名を変更することもできます。

参考

プリンタ名を変更する場合、末尾の「(USB メモリ)」は残すことをお勧めします。



10

[インストール]をクリックする

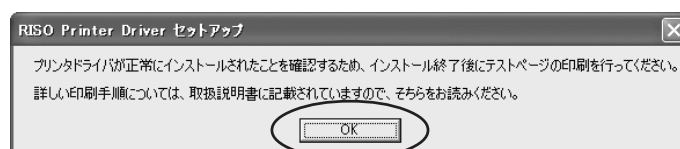


参考

[デジタル署名](Windows 2000の場合)、[Windows ログ認定テスト](Windows XPの場合)または、[ドライバソフトウェアの発行元を検証できません](Windows Vistaの場合)のダイアログボックスが表示された場合は、インストールを続行してください。

11

メッセージが表示されるので、[OK]をクリックする



参考

USBメモリへのテストページの出力方法は、「専用フォルダを作成する」(P.32)および「テストページを印刷する」(P.33)をご覧ください。

12

[ReadMeを表示]をクリックする

ReadMeが表示されます。ご使用にあたっての注意事項が記載されていますので、必ずお読みください。



13

[終了]をクリックする

プリンタドライバをご使用になる前に、必ずパソコンを再起動してください。
[今すぐ再起動する]にチェックを入れておくと、[終了]をクリックした後にパソコンが再起動されます。



14

パソコンから「RISO Printer Driver」CD-ROMを取り出す

重要

取り出したCD-ROMは、大切に保管してください。

続いて、専用フォルダをUSBメモリ内に作成してください。(次ページへ)

専用フォルダを作成する

ここでは、USBメモリ内に専用フォルダを作成する方法を記述しています。



重要

USBメモリを使用してプリントする場合は、必ずUSBメモリ内に専用フォルダを作成してください。専用フォルダを作成していないUSBメモリではプリントできません。

参考

以下の手順の代わりに、USBメモリを印刷機に接続することでも専用フォルダを作成できます。ご使用の印刷機の取扱説明書をご覧ください。

1

USB メモリをパソコンに接続する

2

[印刷]ダイアログボックスを表示する

プリントする原稿データをパソコン上で開き、[ファイル]メニューから[印刷] (または[プリント])を選択します。

3

インストールしたプリンタを選択する

4

[プロパティ]をクリックする

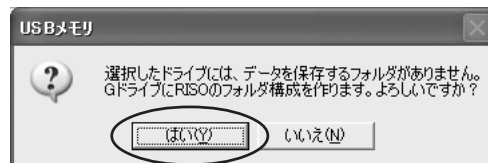
5

[出力方法]で[USBメモリへ出力]が選択されていることを確認し、[出力設定]をクリックする

6

メッセージが表示されるので、[はい]をクリックする

USBメモリ内に専用フォルダが作成されます。



7

[OK]をクリックする



続いて、テストページを印刷します。



重要 USBメモリ内の専用フォルダの名前を変更したり、原稿データを移動したりする場合は、理想USBメモリマネージャーを使用してください。詳しくは、「リソーユーティリティソフトウェア取扱説明書」をご覧ください。

テストページを印刷する

ここでは、USBメモリに出力したテストページを印刷機でプリントする方法を記述しています。



重要 あらかじめ、専用フォルダ(※ [P.32](#))を作成したUSBメモリを、使用してください。

1

プリンタフォルダを開く

[スタート]メニューの[設定]－[プリンタとFAX]をクリックして、[プリンタとFAX]フォルダを開きます。

2

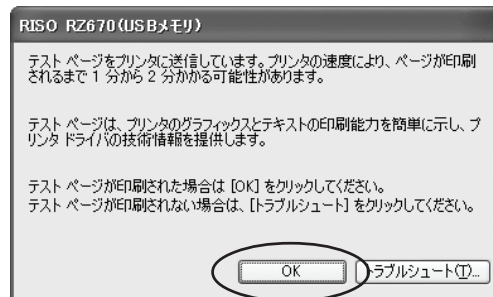
インストールしたプリンタ(USBメモリ)のプロパティを開く

インストールしたプリンタ(USBメモリ)のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択してください。

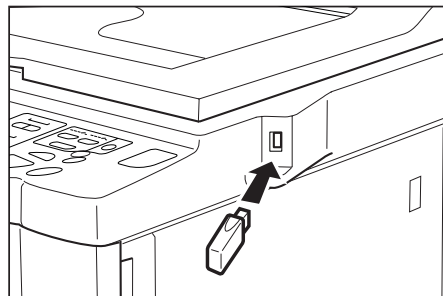
3

[テストページの印刷]をクリックする

- 4** メッセージが表示されるので、数秒待ってから[OK]をクリックする
テストページのデータがUSBメモリ内に保存されます。

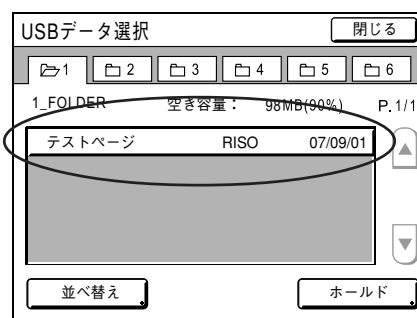


- 5** USB メモリをパソコンから取り外し、印刷機に接続する



- 6** 印刷機のタッチパネルで[USB メモリ]ボタンにタッチする

- 7** [1_FOLDER]の[テストページ]を選択し、[呼出]ボタンにタッチする



- 8** <スタート>キーを押す

印刷機には、あらかじめA4用紙をセットしておいてください。
テストページが出力されます。

操作のしかた

■使用環境に合わせて登録する	36
■プリントのしかた	39
RISO Printer Driver の [プロパティ] ダイアログボックス	40
■[プロパティ]の設定方法	42
[メイン] タブ	43
[イメージ処理] タブ	51
[その他] タブ	53
■RISORINC 形式ファイルを作成するには	56
レイアウト機能使用時の RISORINC 形式ファイルの作成方法 ...	57

■ 使用環境に合わせて登録する

ーオプション機器登録・用紙登録・インク色登録・インク色情報ー

ご使用の環境に合わせて、オプション機器・定形外用紙・インク色登録およびインク色情報の設定を行います。

1

プリンタフォルダを開く

Windows 2000/XPの場合

[スタート]メニューの[設定]ー[プリンタとFAX]をクリックして、[プリンタとFAX]フォルダを開きます。

Windows Vistaの場合

[スタート]アイコンー[コントロールパネル]ー[ハードウェアとサウンド]ー[プリンタ]をクリックして[プリンタ]フォルダを開きます。

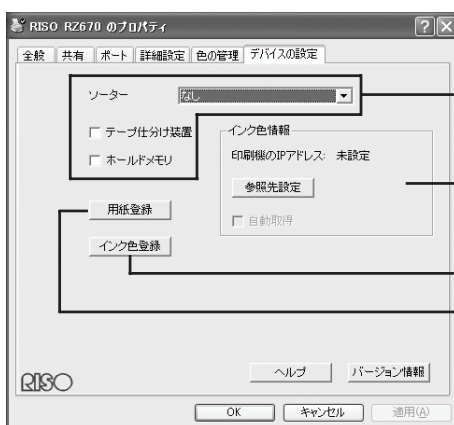
2

プリンタのプロパティを開く

[プリンタ]フォルダのRISO印刷機のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。

表示されたダイアログボックスで、[デバイスの設定]タブをクリックします。

通常版プリンタドライバ



オプション機器登録*

インク色情報*

インク色登録

用紙登録

* [オプション機器登録]の[ホールドメモリ]と、[インク色情報]は、USBメモリ用プリンタドライバでは表示されません。

3

必要に応じて登録をする

●オプション機器を登録する

オプション機器が接続されている場合に選択できます。

[ソーター] 接続されているソーターの種類を選択します。

[テープ仕分け装置] STソーター装着の場合にチェックします。

[ホールドメモリ](通常版プリンタドライバのみ)

メモリーカードDM128CF搭載時にチェックします。

●定形外用紙を登録する

よく使う定形外の用紙に、名前をつけて登録することができます。

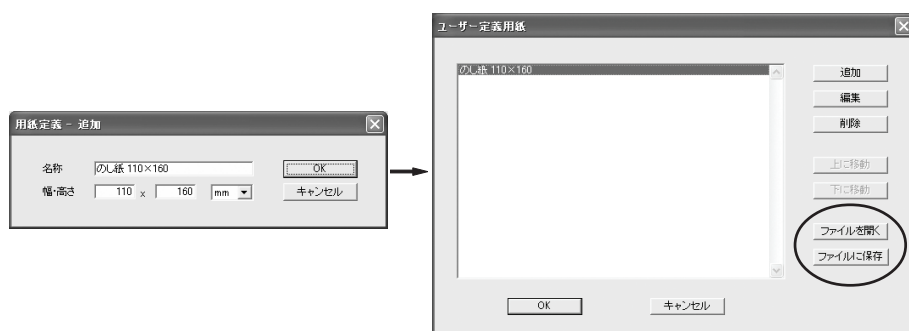
ここで登録した用紙は[メイン]タブ(参照 [P.43](#))の定形サイズのプルダウンメニューに表示されます。

① [用紙登録]ボタンをクリックすると[ユーザー定義用紙]ダイアログボックスが表示されます。

② [ユーザー定義用紙]ダイアログボックスで、[追加]ボタンをクリックし、[用紙定義-追加]ダイアログボックスを開きます。



③ 名称・サイズを入力し、[OK]ボタンをクリックします。
定型用紙のリストに、登録した名称が表示されます。



④ [ユーザー定義用紙]ダイアログボックスで、[OK]ボタンをクリックします。

参考

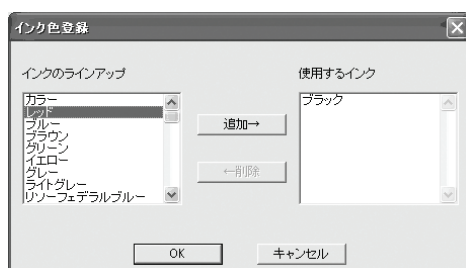
- 登録したユーザー定義用紙は[ファイルに保存]ボタンをクリックするとユーザー定義用紙情報ファイル(拡張子:udp)として保存することができます。ユーザー定義用紙情報ファイルからユーザー定義用紙に登録する場合は[ファイルを開く]ボタンをクリックしてファイルを指定してください。
- 横置きで使用する用紙を登録する場合は、長辺の寸法を[幅]の欄に、短辺の寸法を[高さ]の欄に入力してください。
- 名称欄に、名称とサイズを入力しておくとう紙選択時にサイズが確認できて便利です。入力できる文字数は、全角15文字、半角30文字です。
- 登録できる用紙サイズの範囲は、ご使用の印刷機によって異なります。詳しくは印刷機の取扱説明書をご覧ください。
- いったん登録した用紙を変更する場合は、編集する用紙をリストから選んで[編集]をクリックし、変更してください。また、登録した用紙を削除したい場合は、削除する用紙を選択し、[削除]をクリックしてください。

●インク色を登録する

お手持ちのカラードラムのインク色を登録します。

ここで登録したインクの色は[メイン]タブ(参照 [P.43](#))の[印刷インク色]のプルダウンメニューに表示されます。

- ① [インク色登録]をクリックすると[インク色登録]ダイアログボックスが表示されます。
- ② [インク色登録]ダイアログボックスの[インクのラインアップ]から、持っているインクの色を選び、[追加] ボタンをクリックする。



- ③ [OK] ボタンをクリックする。

●インク色情報(ネットワーク接続の場合のみ)

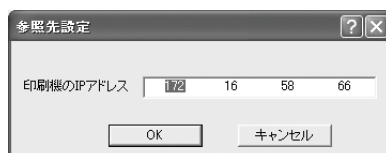
インク色情報を自動取得するかどうかを選択します。

チェックあり：プリンタプロパティ画面を開くたびに印刷機にセットされているインクの色情報を取得し、プリンタドライバのインク色設定に反映させます。

また、プリンタプロパティ画面を開かないで印刷する場合は、印刷処理の前にインク色情報を取得し、一時的に印刷機にセットされているインクをプリンタドライバの設定に反映させ出力を行います。

チェックなし：インク色情報の更新は、[メイン]タブの[更新] ボタンを押した時のみ行います。

【参照先設定】



印刷機に装着されているカラードラムのインク色情報を取得する場合に設定します。

【印刷機のIPアドレス】 接続されている印刷機のIPアドレスを入力してください。

4

設定を完了する

[デバイスの設定]タブの[OK] ボタンをクリックします。

■プリントのしかた

パソコンで作成した原稿データのプリントは、以下の手順で行います。
あらかじめパソコンに、必要なプリンタドライバがインストールされていることを確認しておいてください。
接続されているオプション機器や、ご使用の印刷機によって設定できる項目は異なります。

重要

- 印刷機で印刷できる領域(プリントエリア)はご使用の印刷機によって異なります。ご使用の印刷機の取扱説明書をご覧ください。
- その他の制限事項については、ご使用の印刷機の取扱説明書もあわせてお読みください。

1

印刷機の準備をする

印刷機の電源が[ON]になっていることを確認し、出力用紙サイズと同じサイズ
の用紙をセットします。給紙台、排紙台を調整しておきます。
詳しくは印刷機の取扱説明書をご覧ください。

2

[印刷]ダイアログボックスを表示する

プリントする原稿データをパソコン上で開き、[ファイル]メニューから[印刷](ま
たは[プリント])を選択します。

3

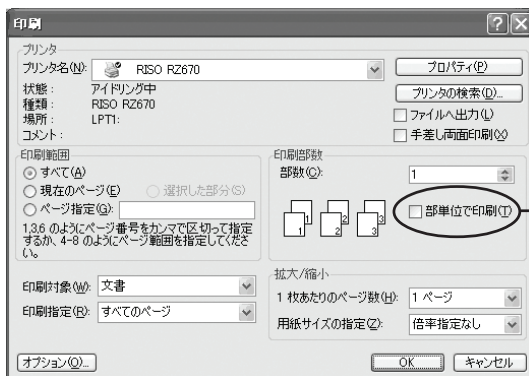
プリンタドライバを選択する

[プリンタ名]の欄で、ご使用の印刷機に対応するプリンタドライバを選択します。
USBメモリを使用してプリントするときは、「ご使用の印刷機名(USBメモリ)」
を選択し、USBメモリをパソコンに接続してください。

4

プリント条件を確認する

- 印刷部数(枚数)、印刷範囲を指定します。
- [部単位で印刷]のチェック項目がある場合には、必ずチェックマークを外して無効にしてください。(有効にすると、1枚印刷するごとに製版を繰り返してしまいます。)



[部単位で印刷]のチェックマークを外す

重要 複数ページが1つのファイルになっている原稿で、用紙サイズや用紙の向きが異なるページがある場合、ページ範囲を[すべて]にすると正しく印刷できません。用紙サイズや用紙の向きが同じページごとに[ページ指定]で印刷してください。

さらに詳細なプリント条件を設定する場合は、[プロパティ]ボタンをクリックして、[プロパティ]ダイアログボックスを表示します。

RISO Printer Driver の【プロパティ】ダイアログボックス

ダイアログボックス上端のタブをクリックして、各設定項目を表示します。

参考 プリンタの設定に関するアクセス権によっては、設定できない項目もあります。

[メイン]タブ(詳細設定は [P.43](#))

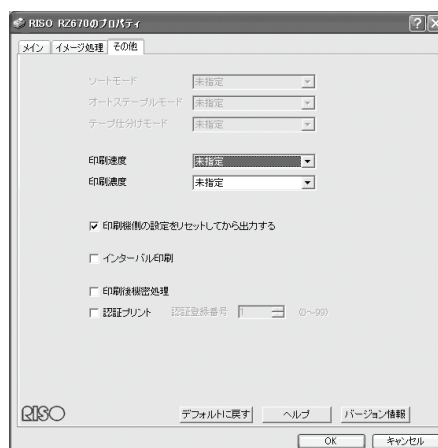


重要 このタブの原稿サイズ、印刷の向きは、必ず作成アプリケーションの用紙設定と合わせて設定してください。

[イメージ処理]タブ(詳細設定はP.51)



[その他]タブ(詳細設定はP.53)



特に設定する必要のない場合は、このタブの項目は「未指定」にしておくか、変更しないでください。(印刷機側の設定でプリントされます。)
設定する場合は、印刷機の取扱説明書の同じ項目のページをよく読んでから設定してください。

5

プリントを指示する

[OK] ボタンをクリックして[印刷] ダイアログボックスに戻ります。
[印刷] ダイアログボックスで[OK] ボタンをクリックすると、原稿データが印刷機に送られ、プリントが始まります。

USBメモリを使用する場合は、USBメモリにデータが出力されます。USBメモリをパソコンから取り外し、印刷機に接続してプリントしてください。印刷機でのプリント方法は、印刷機の取扱説明書をご覧ください。

■ [プロパティ] の設定方法

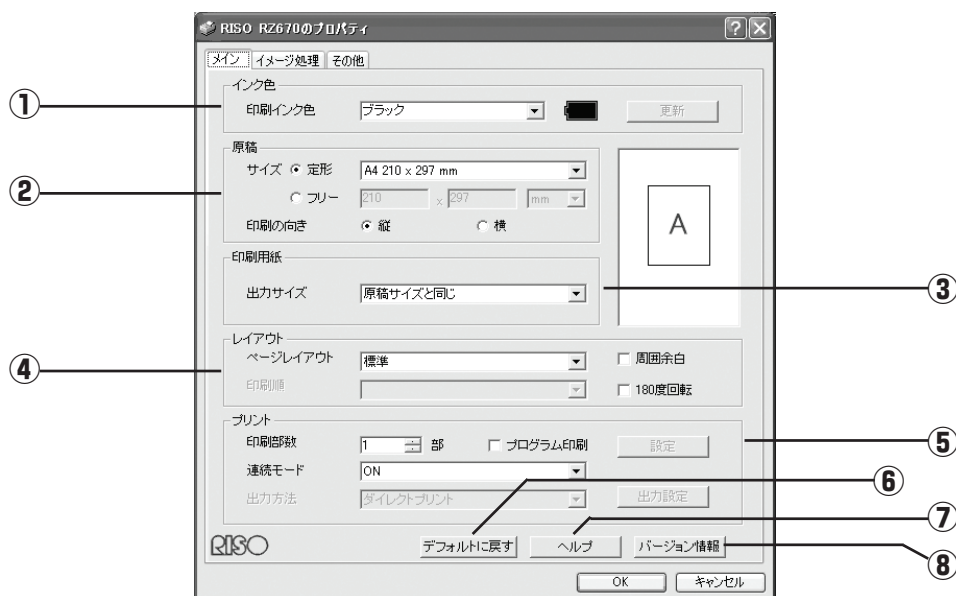
重要 出力設定により、プリンタドライバの設定が無効になる機能(項目)があります。

		通常版プリンタドライバ		USBメモリ用プリンタドライバ	
ドライバの設定項目		ダイレクト プリント	ホールド	USBメモリ	USBメモリ (自動製版)
[メイン]タブ	180度回転	○	×	×	○
	プログラム印刷	○	×	×	○
	連続モード	○	×	×	○
[その他]タブ	ソートモード	○	×	×	○
	テープ仕分けモード	○	×	×	○
	印刷速度	○	×	×	○
	印刷濃度	○	×	×	○
	印刷機側の設定をリセット してから出力する	○	×	×	○
	インターバル印刷	○	×	×	○
	印刷後機密処理	○	×	×	○
	認証プリント	○	○	○	×

○：プリンタドライバの設定が有効

×：ドライバの設定は無効(またはドライバでは設定できません)。プリント時に、印刷機の操作パネルで設定してください。

【メイン】 タブ -RISO Printer Driver のプロパティ-



設定内容

①インク色

印刷インク色
更新

②原稿

サイズ
印刷の向き

③印刷用紙

出力サイズ

④レイアウト

ページレイアウト
印刷順
周囲余白
180度回転

⑤プリント

印刷部数
プログラム印刷
連続モード
出力方法
出力設定

⑥デフォルトに戻す

⑦ヘルプ

⑧バージョン情報

①インク色

【印刷インク色】

[更新]を実行してインク色情報の取得が完了すると、印刷機にセットされているインク色に自動設定されインク色名の文字が青色で表示されます。現在、何色のドラムがセットされているかを確認したい場合などに便利です。

情報取得がされない場合は[▼]をクリックしてプルダウンメニューを表示させ、印刷機にセットされているインク色を手動で選択してください。

【更新】(ネットワーク接続の場合のみ)

■ [デバイスの設定]タブ(参照 [P.36](#))で[インク色情報]－[参照先設定]の設定が必要です。

[更新]ボタンをクリックすると印刷機にセットされているインク色情報をプリンタドライバに反映します。情報取得が完了すると、プリンタドライバのインク色名の文字が青色で表示されます。



インク色の更新を行うためには、RISO Network Cardモニタリングツールが起動している必要があります。

②原稿

【サイズ】

原稿のサイズと印刷の向きを設定します。

[定形] [フリー]のどちらかを選択します。



- 必ず、原稿データを作成したアプリケーションで設定した用紙サイズと同じサイズを指定してください。
- 印刷機で横通紙する場合は、アプリケーションの用紙サイズであらかじめ「横」の付くサイズを選んでください。

●定形サイズを使用するとき

定形サイズを使用したいときは、[▼]をクリックしてプルダウンメニューを表示させ、定形サイズを選択します。



●表示されているサイズ以外を使用したいとき

[フリー]を選択して、用紙幅・用紙高さをそれぞれ入力してください。
[mm]の横の[▼]をクリックすると、単位を[inch]に変更できます。



参考

- [フリー]に入力できる用紙サイズの範囲は、ご使用の印刷機によって異なります。詳しくは印刷機の取扱説明書をご覧ください。
- 不定形用の紙も、あらかじめ登録することで[定形]のプルダウンメニューから選択することができます。(参照 P.37)
- アプリケーションによっては[フリー]での入力が無視されることがあります。その場合は定形外用紙を登録してください。(参照 P.37)

[印刷の向き]

印刷用紙の通紙方向にデータのプリント方向を合わせるための設定です。

重要

- 必ず、文書を作成したアプリケーションで設定した印刷の向きと同じ向きを指定してください。
- 異なる向きを指定すると正しく印刷できません。

③印刷用紙

[出力サイズ]

印刷に使用する用紙サイズを選択します。

拡大縮小を行わない場合は、「原稿サイズと同じ」を選択してください。

原稿サイズと異なる用紙サイズを選択すると、拡大縮小(50%~200%の範囲内での定形倍率)を行います。

④レイアウト

[ページレイアウト]

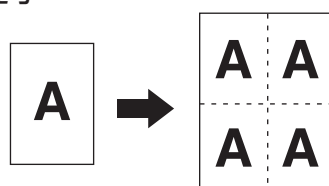
1枚の印刷用紙に、原稿を複数面付けしてプリントできます。

標準 : 連写やNアップを行いません。

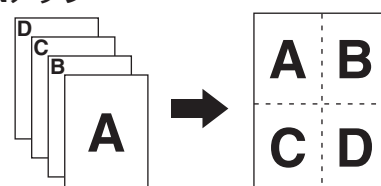
2面連写・4面連写 : 同じ原稿を面付けします。

2アップ・4アップ : 異なる原稿を面付けします。

連写



Nアップ



⑤ プリント

[印刷順]

Nアップ時の原稿の並び順を設定します。Nアップを行う場合に選択できます。

2アップの場合：順方向、逆方向から選択します。

4アップの場合：順横方向、順縦方向、逆横方向、逆縦方向から選択します。

[周囲余白]

チェックすると、原稿サイズを95%に縮小してプリントできます。

[180度回転]

原稿データを180度回転させて出力することができます。

ソーターでステープルするときや、封筒などを印刷するときに使用してください。



重要 180度回転は印刷機側でも設定できますが、プリンタドライバと印刷機両方で設定すると、180度回転されずにプリントされます。

[印刷部数]

印刷部数は、基本的には[印刷] ダイアログボックス(参照 [P.39](#))で設定しますが、[印刷] ダイアログボックスに部数設定がないアプリケーションソフトの場合は、ここを入力します。

[プログラム印刷]

1枚の原稿から、印刷枚数ごとに何組かに分けてプリントする機能です。

チェックすると[設定]ボタンがクリックできるようになります。[設定]ボタンをクリックすると[プログラム印刷] ダイアログボックスが開きます。

グループ	印刷枚数	組数
1	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1"/>
2	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="1"/>
3	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="1"/>
4	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="1"/>
5	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="1"/>
6	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="1"/>

仕分け: ☒ テーブル ☐ しない

印刷枚数：1組当たり何枚印刷するかを設定します。

組数：印刷枚数で設定した枚数を、何組印刷するかを設定します。

クリア：印刷枚数、組数を初期値に戻します。

【仕分け】

テープ : テープによって仕分けを行います。
しない : 仕分けを行いません。

■ テープ仕分けを行うには、オプションのテープ仕分け装置が必要です。

【連続モード】

【▼】をクリックしてプルダウンメニューを表示し、製版・印刷の連続方法(プリントの停止タイミング)を設定します。

試し刷りを確認したいときやページごとに印刷をいったん止めたいときは、OFFの中からタイミングを選択してください。

【ON】

製版から印刷まで連続して行います。複数ページある場合も全ページ止まらずにプリントします。

【OFF—製版前ストップ(オート印刷)】

データ受信後、製版する前に停止します。用紙を載せ換えたり、ドラムを交換したりできます。また、印刷機の液晶パネルに印刷イメージを表示させて、印刷物の内容を確認することができます。その後、印刷機の<スタート>キーで製版から印刷(オート印刷)を開始します。

【OFF—印刷前ストップ(オート製版)】

製版後、試し刷りを1枚出した状態で停止します。印刷物の内容を確認したり、位置を調整したりすることができます。その後、印刷機の<スタート>キーで印刷を開始します。複数ページある場合は、印刷終了後、次ページの製版を続けて行い(オート製版)、試し刷りを出した状態で停止します。

【OFF—製版前、印刷前ストップ】

製版前、印刷前両方とも停止します。(印刷機の通常の印刷モード(連続OFF)です。)



通常版プリンタドライバの場合、連続モードの設定は、ダイレクトプリント(参照 [P.48](#)「出力方法」)時にのみ有効です。(ホールド時には、この情報は無効になります。)ホールドデータの連続モードの設定は、データを呼び出したときに、印刷機のディスプレイで設定します。

参考

USBメモリ用プリンタドライバで、[出力方法] (参照 [P.48](#))を[USBメモリへ出力(自動製版)]に設定した場合は、ここで設定した[連続モード]に従って製版・印刷を実行します。

そのため、[OFF—製版前ストップ(オート印刷)]、[OFF—製版前、印刷前ストップ]を選択した場合、製版は自動的に開始されません。

【出力方法】(通常版プリンタドライバの場合)

■ この設定は[デバイスの設定]タブ(参照 [P.36](#))で[ホールドメモリ]にチェックが入っている場合に表示されます。

[▼]をクリックしてプルダウンメニューを表示し、出力方法を設定します。

【ダイレクトプリント】 印刷機にデータを送り、連続モードの設定に従ってプリントを開始します。プリント終了後、データは自動的に消去されます。

【プリント&ホールド】 ダイレクトプリントを行い、データは印刷機に保存(ホールド)します。以後繰り返し、そのデータを印刷機の操作で呼び出してプリントできます。

【ホールド】 印刷機にデータを送り保存(ホールド)します。以後繰り返し、そのデータを印刷機の操作で呼び出してプリントできます。

【出力方法】(USBメモリ用プリンタドライバの場合)

[▼]をクリックしてプルダウンメニューを表示し、出力方法を設定します。

【USBメモリへ出力】 USBメモリにデータを出力します。データは、USBメモリ内のフォルダを指定することができます。(参照 [P.49](#))

【USBメモリへ出力(自動製版)】 USBメモリにデータを送ります。プリント時は、連続モードの設定に従ってプリントします。印刷機で製版を行うと、USBメモリ内のデータは自動的に消去されます。
また、フォルダを指定することはできません。
([自動製版]フォルダに入ります。)

【出力設定】

通常版プリンタドライバの場合

ホールド時に必要な付加情報を設定します。下記の項目内容が、原稿データと共にホールドされます。ホールドするデータの識別に利用できます。

[出力設定] ボタンは、出力方法で[プリント&ホールド]、[ホールド]を選択すると、クリックできるようになります。[出力設定] ボタンをクリックすると[ホールドメモリ出力設定] ダイアログボックスが開きます。

USBメモリ用プリンタドライバの場合

USBメモリ出力時に必要な付加情報を設定します。下記の項目内容が、原稿データと共に保存されます。出力するデータの識別に利用できます。[出力設定] ボタンをクリックすると[USBメモリ出力設定] ダイアログボックスが開きます。

ジョブ名をアプリケーションから取得する:

チェックすると、ジョブ名を原稿を作成したアプリケーションから自動的に取得します。

ジョブ名:

アプリケーションで設定したジョブ名とは、異なる名前を付ける場合に入力します。

オーナー名:

ホールドするデータまたはUSBメモリに出力するデータの管理者名を入力できます。デフォルトは、コンピュータのログインユーザー名です。

保存先フォルダ:

ホールドメモリ、またはUSBメモリの保存先フォルダ(1～6)を指定します。

⑥デフォルトに戻す

保存先ドライブ(USBメモリ用プリンタドライバのみ):

USBメモリが接続されているドライブを選択します。

プルダウンメニューには、USBメモリとして認識されたドライブが表示されます。

削除時に確認する:

チェックすると、印刷機からホールドデータを削除する際や、またはUSBメモリ内のデータを削除する際に、確認メッセージが操作パネル上に表示されます。

参考

USBメモリ用プリンタドライバの場合、[出力方法] (P.48) で [USBメモリへ出力(自動製版)] が選択されているときは、データはプリント終了後、自動的に消去(削除)されます。

[デフォルトに戻す] ボタンをクリックすると、タブ内の設定が初期状態に戻ります。

参考

[イメージ処理]、[その他] タブにも表示されます。

⑦ヘルプ

[ヘルプ] ボタンをクリックするとヘルプが表示されます。

参考

[イメージ処理]、[その他] タブにも表示されます。

⑧バージョン情報

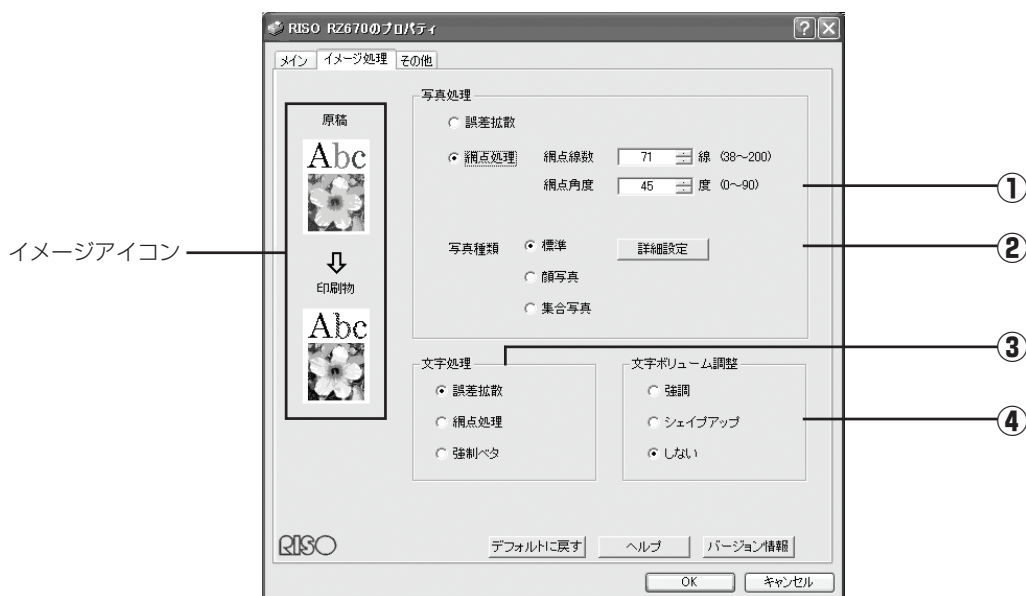
[バージョン情報] ボタンをクリックすると、下のようなダイアログボックスが表示されます。プリンタドライバの異常などでサポートセンターに問い合わせるときに、バージョンを確認してください。



参考

[イメージ処理]、[その他] タブにも表示されます。

【イメージ処理】タブ -RISO Printer Driverのプロパティ-



設定内容

①写真処理

誤差拡散
網点処理
網点線数
網点角度

②写真種類

標準
顔写真
集合写真

③文字処理

誤差拡散
網点処理
強制ベタ

④文字ボリューム調整

強調
シェイプアップ
しない

①写真処理

中間調やカラー画像を階調表現する処理(ハーフトーン処理)を選択できます。選択された内容は、左側の「印刷物(イメージ)」で確認できます。

【誤差拡散】 原稿の濃度に応じて、1ドット毎に、そのドットを印刷するか、しないかを判断して階調表現を行う処理です。細かい画像も再現しますが、階調表現は、網点処理よりも劣ります。

【網点処理】 原稿の濃度に応じて、網点の大きさを変えて階調表現を行う処理です。高い階調表現ができますが、細かい画像の再現は、誤差拡散処理よりも劣ります。

【網点処理】を選択すると網点処理のパラメータを設定することができます。

【網点線数】 網点の細かさを、線数で設定できます。1インチ(25.4mm)に何個の網点を印刷するかを示し、単位は線で表します。設定範囲は38～200線で、デフォルト値は71線です。

【網点角度】 網点の並ぶ方向を、角度で設定できます。モアレが発生した場合などに調整します。設定範囲は0～90度で、デフォルト値は、45度です。

②写真種類

写真画像の種類を選択して、写真画像の仕上がりを設定します。

【標準】 [詳細設定] ボタンをクリックして、明るさやコントラストなどの設定を行うことができます。

【顔写真】 バストアップ写真向きの設定です。人物の顔がきれいに印刷できるように、明るめに画像処理します。

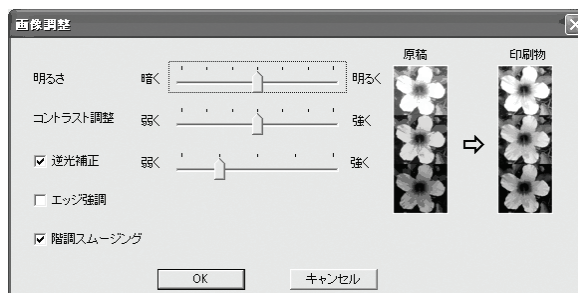
【集合写真】 集合写真向きの設定です。顔の目鼻が飛ばないように、少し濃いめに画像処理します。

参考

【顔写真】または【集合写真】を選択すると、【標準】で設定した内容は、初期状態に戻ります。

【画像調整】

【詳細設定】ボタンをクリックすると【画像調整】ダイアログボックスが表示されます。



明るさ : 写真画像の明るさを7段階で調整できます。

コントラスト調整 : 写真画像全体のコントラストを7段階で調整できます。

逆光補正 : チェックを入れた場合、写真画像の逆光補正を行い、くっきりさせることができます。

エッジ強調 : チェックを入れた場合、写真画像のエッジ強調を行い、輪郭をはっきりさせることができます。

階調スムージング : 写真処理の設定が、【網点処理】の場合に有効です。チェックを入れた場合、網点処理の階調表現が滑らかになります。

③文字処理

文字の表現方法を指定します。

誤差拡散 : 文字の色を、階調で表現します。明るい色は薄く、暗い色は濃く印刷されます。

網点処理 : 文字部を網点で表現します。小さい文字の表現には適しません。

強制ベタ : 文字部をすべてベタで表現します。文字部をくっきり表現したい場合に用います。文字の色の違いは表現できません。

④文字ボリューム調整

参考

イメージアイコン

文字の太さを調整できます。

強調 : 文字を太くして印刷します。(カスレ防止)

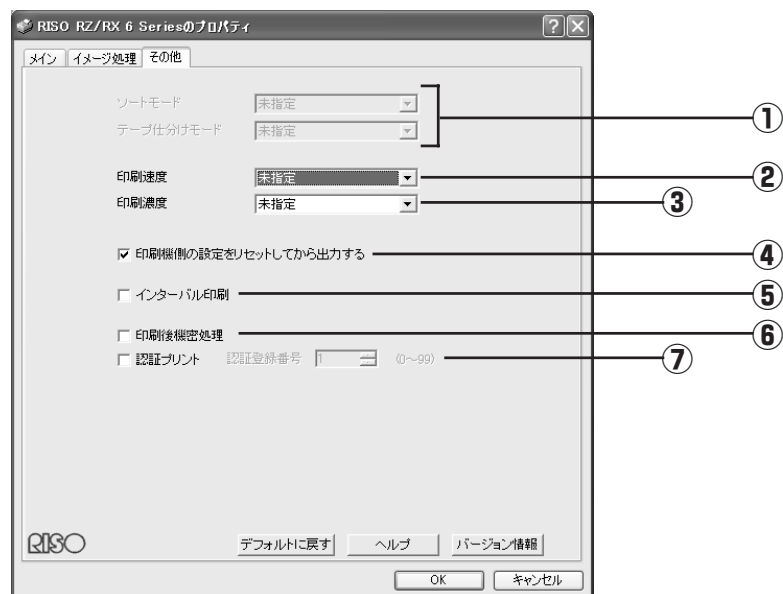
シェイプアップ : 文字を細くして印刷します。(ツブレ防止)

しない : 文字ボリュームの調整を行いません。

【写真処理】【文字処理】【文字ボリューム調整】の設定内容に応じて、原稿および印刷物のイメージが表示されます。

実際の原稿および印刷物とは異なります。

【その他】 タブ



設定内容

- | | |
|------------|------------------------|
| ① オプションの設定 | ④ 印刷機側の設定をリセットしてから出力する |
| ソートモード | ⑤ インターバル印刷 |
| テープ仕分けモード | ⑥ 印刷後機密処理 |
| ② 印刷速度 | ⑦ 認証プリント |
| ③ 印刷濃度 | 認証登録番号 |

① オプションの設定

- [ソートモード]は、[デバイスの設定]タブ(P.36)の[ソーター]で、[ソーター]を選択している場合に表示されます。
- [テープ仕分けモード]は、[デバイスの設定]タブ(P.36)で[テープ仕分け装置]にチェックが入っている場合に表示されます。

[ソートモード]

[デバイスの設定]タブ(P.36)の[ソーター]で、[ソーター]を選択している場合に表示されます。印刷機に接続されているソーターのモード設定ができます。

未指定 : 印刷機の設定に従います。

ノンソート : 印刷物をノンソート台に収納します。印刷物は、ストレートにソーターのノンソート台に収納されます。

ソート : 複数原稿の印刷物を丁合いです。印刷物は丁合いです、各ビンに1部ずつ分配されます。

グループ : 原稿ごとに、異なるビンに分配されます。

ドライ : 印刷物を1ビンに1枚ずつ分配し、これを繰り返します。

参考

ソーターの機能・操作などについては、ソーターの取扱説明書をご覧ください。

【テープ仕分けモード】

[デバイスの設定] タブ(🔧 P.36)で、[テープ仕分け装置]にチェックが入っている場合に表示されます。印刷機に接続されているテープ仕分け装置で、テープを挿入するタイミングを設定できます。

未指定 : 印刷機の設定に従います。

しない : テープを挿入しません。

ジョブごと : ジョブごとにテープを挿入します。

ページごと : ページごとにテープを挿入します。

参考

テープ仕分け装置の機能・操作などについては、テープ仕分け装置の取扱説明書をご覧ください。

②印刷速度

印刷機の印刷速度を5段階で設定します。

[未指定]にしておくと、印刷機側で設定されている速度で印刷されます。

③印刷濃度

印刷機の印刷濃度を5段階で設定します。

[未指定]にしておくと、印刷機側で設定されている濃度で印刷されます。

④印刷機側の設定 をリセットして から出力する

原稿データを印刷機に送る前に、印刷機の設定をリセットします。
基本的には、チェックした状態でのご使用をお勧めします。

⑤インターバル印刷

印刷時にドラムを空転させて、排紙の間隔をあけることにより、印刷物の乾燥時間を作り、裏移りを防ぎます。

⑥印刷後機密処理

すべてのページの製版・印刷終了後、最後に製版したマスターが廃棄され、新しいマスターがセットされます。次に印刷する人に印刷内容を知られたくない場合に設定します。

⑦認証プリント

認証ジョブとしてプリントします。機密文書などの他人に読まれたくない書類を印刷するときに設定します。

認証ジョブは、印刷機へ送信されても、印刷機の操作パネルで認証操作を行うまで、製版・印刷されません。

重要

- USBメモリ用プリンタドライバの場合、[認証プリント] をチェックすると、自動的に[出力方法] (P.48) が[USBメモリへ出力] に設定されます。([USBメモリへ出力(自動製版)] は選択できません。)
- [認証プリント] を設定する場合は、あらかじめ、印刷機側で認証設定を行ってください。詳しくは、印刷機の取扱説明書をご覧ください。

【認証登録番号】

認証ジョブとしてプリントする場合に、印刷機に登録した認証登録番号(ユーザー登録番号)を入力します。0～99の範囲で、半角文字で入力できます。

参考

[認証プリント]、[認証登録番号]については、印刷機の取扱説明書をご覧ください。

RISORINC-NETを利用してデータをFTP送信する等の場合には、送信の前に送信可能なデータ形式(RISORINC形式ファイル)を作成する必要があります。

参考 RISORINC形式ファイルは、当社製印刷機専用の印刷データ形式です。
RISO Printer Driverで設定した条件がすべて書き込まれます。

重要 [レイアウト]機能(P.45)を使用している場合は、RISORINC形式ファイルの作成方法が異なります。「レイアウト機能使用時のRISORINC形式ファイルの作成方法」(P.57)をお読みください。

1


[印刷] ダイアログボックスを表示する

RISORINC形式ファイルにする原稿データをパソコン上で開き、[ファイル]メニューから[印刷] (または「プリント」) をクリックします。

2

プリント条件を確認する

[プリンタ名]の欄に、ご使用の印刷機に対応するRISO Printer Driverが表示されていることを確認します。

必要に応じて、通常のプリントと同じように[プロパティ]ボタンをクリックして印刷条件を設定します。(参照  [P.43](#))

- 重要**

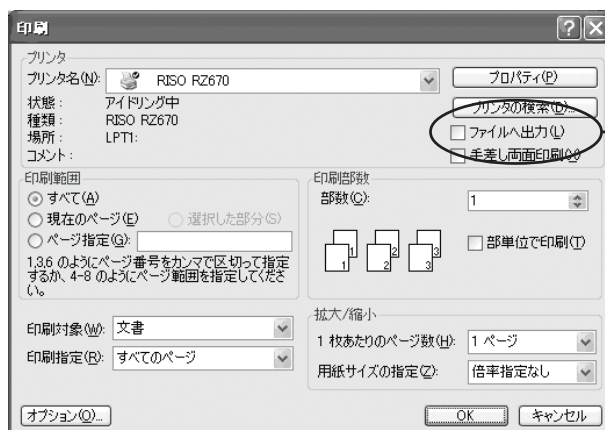
 - RISORINC形式ファイルは、印刷機に対応するRISO Printer Driverで作成してください。プリンタドライバと印刷機が一致しないと、正しくプリントできないことがあります。
 - USBメモリ用プリンタドライバは使用できません。

3

ファイル出力を指示する

[ファイルへ出力]のチェックマークを付け、[OK] ボタンをクリックします。続いて表示されるダイアログボックスでファイル名と保存場所を指定して、[保存] ボタンをクリックします。

RISORINC形式ファイルが作成され、指定した保存場所に保存されます。



- ・ [ファイルへ出力] のチェックマークを付ける

レイアウト機能使用時の RISORINC 形式ファイルの作成方法

[レイアウト]機能(☞ P.45)を使用している場合は、必ずLocal PortからRISORINC形式ファイルを作成してください。

通常の手順では、正しく作成できません。

■ RISORINC形式ファイル用のLocal Portの追加方法

- ① [コントロール パネル]から[プリンタとFAX]または[プリンタ]を開く。
- ② ご使用のRISO Printer Driverを選択し、プロパティを開く。
- ③ [ポート]タブを開く。
- ④ [ポートの追加]をクリックする。
- ⑤ [Local Port]を選択し、[新しいポート]をクリックする。
- ⑥ [ポート名]ダイアログボックスが開くので、RISORINC形式ファイルの保存先ドライブ ([例]C:¥)とファイル名([例]RISORINC.prn)を入力し[OK]をクリックする。
[ポート名]に「C:¥RISO¥RISORINC.prn」と入力するとCドライブにRISORINC.prnというファイル名で保存されます。

■ RISORINC形式ファイル用のLocal Portの選択方法

- ① [コントロール パネル]から[プリンタとFAX]または[プリンタ]を開く。
- ② ご使用のRISO Printer Driverを選択し、プロパティを開く。
- ③ [ポート]タブを開く。
- ④ [印刷するポート]から追加したRISORINC形式ファイル用のLocal Portにチェックを入れ[OK]をクリックする。

重要 レイアウト機能を使用したRISORINC形式ファイルの作成が終わったら、同様の手順で通常の印刷するポートに戻してください。

参考 ご使用のRISO Printer Driverを2つインストールし、印刷機の出力用とRISORINC形式ファイル用として登録しておくと、便利です。

■ RISORINC形式ファイルへの出力方法

- ① [印刷]ダイアログボックスを表示する。
RISORINC形式ファイルにする原稿データを開き、[ファイル]メニューから[印刷]をクリックします。
- ② プリント条件を確認する。
プリンタ名の欄に、RISORINC形式ファイル用のLocal Portを選択したRISO Printer Driverが表示されていることを確認します。
- ③ ファイルへ出力する。
[ファイルへ出力]のチェックを外して[OK]ボタンをクリックすると、Local Portのポート名で指定したドライブとファイル名で保存されます。

重要

- ・ [ファイルへ出力]は必ず外してください。自動的にファイルへ出力されます。
- ・ 別の原稿データを出力する場合は、すでに保存されているRISORINC形式ファイルを別の場所に移動するか、ファイル名を変更してください。
そのまま出力すると、保存されているファイルに上書きされてしまいます。

プリンタドライバのアンインストール

ここではアンインストーラを使用したプリンタドライバのアンインストール方法を記述しています。

Windows Vistaの場合

アンインストーラを使用したアンインストールでは、ドライバパッケージの削除ができません。プリンタドライバの再インストール時など、ドライバパッケージの削除が必要な場合は手動アンインストールを行ってください。

■ プリンタドライバをアンインストールする [60](#)

■ プリンタドライバをアンインストールする

ここでは、プリンタドライバのアンインストール方法を記述しています。
(手動アンインストールの方法については、[P.66](#)をご覧ください。)



プリンタドライバのアンインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント(Administratorなど)で、Windowsにログオンしておく必要があります。

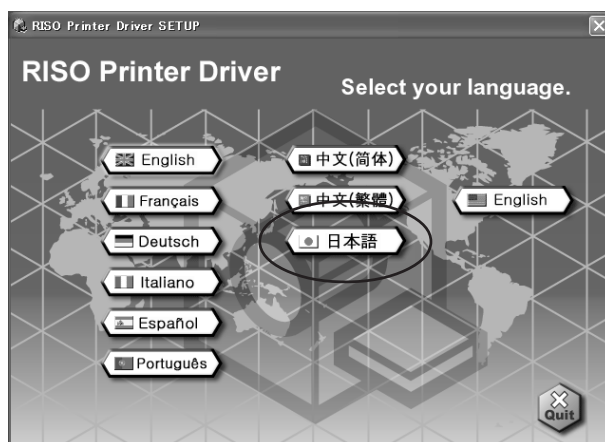
1

「RISO Printer Driver」 CD-ROM をパソコンにセットする

インストーラが起動します。インストーラが起動しない場合はCD-ROM内の「SETUP.EXE」ファイルをダブルクリックしてください。

2

「日本語」をクリックする



3

「アンインストール」をクリックする



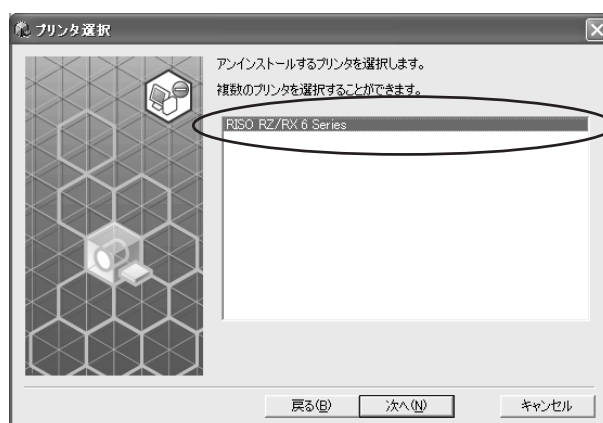
4

[次へ]をクリックする



5

プリンタドライバをアンインストールする印刷機を選択する



6

[次へ]をクリックする



7

[アンインストール]をクリックする



8

[終了]をクリックする

プリンタドライバをアンインストールしたときは、必ずパソコンを再起動してください。[今すぐ再起動する]にチェックを入れておくと、[終了]をクリックした後にパソコンが再起動されます。



9

パソコンから「RISO Printer Driver」CD-ROMを取り出す



取り出したCD-ROMは、大切に保管してください。

プリンタドライバの手動インストール / 手動アンインストール

ここではインストーラ/アンインストーラを使用せずにプリンタドライバをインストール/アンインストールする方法を記述しています。

Windows 2000/XP 編	64
■手動インストールについて	64
USB ケーブル接続の場合	64
ネットワーク接続 / USB メモリ出力の場合	65
■手動アンインストールについて	66
Windows Vista 編	67
■手動インストールについて	67
USB ケーブル接続の場合	67
ネットワーク接続 / USB メモリ出力の場合	68
■手動アンインストールについて	69

Windows 2000/XP 編

■ 手動インストールについて



- プリンタドライバのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント (Administrator など) で、Windows にログインしておく必要があります。
- 本プリンタドライバを動作させるには、以下の環境が必要です。
メモリ: Windows 2000 の場合 … 128MB 以上
Windows XP の場合 …… 192MB 以上
- サーバ OS、プリンタ共有には対応していません。

USB ケーブル接続の場合

1

印刷機の電源を ON にし、印刷機に USB ケーブルを接続する

2

パソコンを起動し、「RISO Printer Driver」CD-ROM をパソコンにセットする

3

パソコンに USB ケーブルを接続する

4

[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面の指示に従ってインストールする

- ① [一覧または特定の場所からインストールする]、[検索しないで、インストールするドライバを選択する] の順に選択し、[次へ] をクリックする (Windows XP)
[このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する] を選択し、[次へ] をクリックする (Windows 2000)
- ② [ディスク使用] をクリックし、インストールするドライバの inf ファイルを選択する
[RISO Printer Driver] – [Win2000_XP] – [Japanese] – RISODRV.inf
- ③ ご使用の印刷機を選択して [次へ] をクリックする
- ④ ウィザード画面を完了する

5

パソコンを再起動する

6

プリンタフォルダを開き、インストールしたプリンタのプロパティを開く

- 7** [詳細設定]タブの[プリントプロセッサ]をクリックする
- 8** プリントプロセッサのリストから[R34X8AP]、既定のデータ型のリストから[NT EMF 1.008]を選択し[OK]をクリックする
- 9** テストページを印刷する

ネットワーク接続 /USB メモリ出力の場合

- 1** [プリンタの追加ウィザード]を開始する
- 2** [ローカルプリンタ]を選択して[次へ]をクリックする
- 3** ポートを作成する
ネットワーク接続の場合 : TCP/IPポートまたはLPRポートを作成します。
USBメモリ出力の場合 : ローカルポート(C:\¥RISO¥RISORINC.prnなど)を作成します。
- 4** [ディスク使用]をクリックし、インストールするドライバのinfファイルを選択する
ネットワーク接続の場合 : [RISO Printer Driver] – [Win2000_XP] – [Japanese] – RISODRV.inf
USBメモリ出力の場合 : [RISO Printer Driver] – [Win2000_XP] – [Japanese] – [USB flash] – RISODRV.inf
- 5** ご使用の印刷機を選択して[次へ]をクリックする
- 6** ネットワーク接続の場合は、テストページを印刷する
- 7** パソコンを再起動する

■ 手動アンインストールについて

- 1** プリンタフォルダから、アンインストールしたいプリンタを削除する
- 2** プリンタフォルダのメニューから、[ファイル]－[サーバーのプロパティ]を開く
- 3** [ドライバ]タブから、アンインストールしたいプリンタドライバを選択し、[削除]ボタンをクリックする

Windows Vista 編

■手動インストールについて

重要


- プリンタドライバのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント (Administrator など) で、Windows にログインしておく必要があります。
- 本プリンタドライバを動作させるには、以下の環境が必要です。
メモリ: 512MB 以上
- プリンタ共有には対応していません。

USB ケーブル接続の場合

- 1** 印刷機の電源を ON にし、印刷機に USB ケーブルを接続する
- 2** パソコンを起動する
- 3** パソコンに USB ケーブルを接続する
- 4** [新しいハードウェアが見つかりました] 画面から、[ドライバソフトウェアを検索してインストールします] - [オンラインで検索しません] の順に選択する
- 5** [ディスクはありません。他の方法を試します] - [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します] の順に選択する
- 6** [RISO Printer Driver] CD-ROM をパソコンにセットする
- 7** [参照] でインストールするドライバの inf ファイルを選択する
[RISO Printer Driver]-[WinVista]-[Japanese]-RISODRV.inf
- 8** リストからご使用の印刷機を選択して[次へ]をクリックする
- 9** パソコンを再起動する

- 10** プリンタフォルダを開き、インストールしたプリンタのプロパティを開く
- 11** [詳細設定]タブの[プリントプロセッサ]をクリックする
- 12** プリントプロセッサのリストから[R34V8AP]、既定のデータ型のリストから[NT EMF 1.008]を選択し[OK]をクリックする
- 13** テストページを印刷する

ネットワーク接続 /USB メモリ出力の場合

- 1** [プリンタの追加ウィザード]を開始する
- 2** [ローカルプリンタ]を選択して[次へ]をクリックする
- 3** ポートを作成する
ネットワーク接続の場合 : TCP/IPポートまたはLPRポートを作成します。
USBメモリ出力の場合 : ローカルポート(C:¥RISO¥RISORINC.prnなど)を作成します。
 **重要** 起動ドライブのルートには、ローカルポートを作成できません。
任意のフォルダを作成し、その中にローカルポートを作成してください。
- 4** [ディスク使用]をクリックし、インストールするドライバのinfファイルを選択する
ネットワーク接続の場合 : [RISO Printer Driver] – [WinVista] – [Japanese] – RISODRV.inf
USBメモリ出力の場合 : [RISO Printer Driver] – [WinVista] – [Japanese] – [USB flash] – RISODRV.inf
- 5** ご使用の印刷機を選択して[次へ]をクリックする
- 6** ネットワーク接続の場合は、テストページを印刷する
- 7** パソコンを再起動する

■ 手動アンインストールについて

- 1** プリンタフォルダから、アンインストールしたいプリンタを削除する
- 2** プリンタフォルダ内の余白部分で右クリックして表示されるメニューから、[管理者として実行]－[サーバーのプロパティ]の順に選択する
- 3** [ドライバ]タブから、アンインストールしたいプリンタドライバを選択し、[削除]ボタンをクリックする
- 4** [ドライバとパッケージの削除]ダイアログが開くので、[ドライバとドライバパッケージを削除する]を選択して削除する

こんなときには

■パソコン上でメッセージが表示されたら	72
■「故障？」と思ったとき	73
印刷できないとき	73
印刷結果が正しく得られないとき	75
その他	77

■ パソコン上でメッセージが表示されたら


以下のような意味のメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。


メッセージ	チェックポイント	対 応
プリンタの準備ができていません。電源が入ってオンラインになっているかどうか確認してください。	印刷機の準備はできていますか？ パソコンと印刷機は正しく接続されていますか？	印刷機の電源を確認してください。 プリンタケーブルやネットワークの接続を調べて、正しく接続してください。
	データ（ページ数・内容）は大き過ぎませんか？	データが大き過ぎると印刷機のメモリが一杯になり、データを受信できなくなります。データが大きいときは、[タイムアウト設定]の設定値を増やしてください。
現在のプリンタ設定に問題があるため印刷できません。	アプリケーションソフトの設定（用紙サイズ、印刷の向き、プリンタドライバの選択など）とプリンタドライバの設定が合っていますか？	アプリケーションソフトでのプリントの設定をやり直してください。 例えば[印刷]ダイアログボックスでの部数とプリンタドライバのプロパティダイアログボックスの印刷部数を合わせてください。

■「故障？」と思ったとき

「おかしいな」「故障かな」と思ったときは、サービスマンに電話をする前に次のような事項を確認してください。

【印刷できないとき】

状況	チェックポイント	対 応
印刷機のディスプレイに「データを受信しています」と表示されたままで、処理が先に進まない	▶ パソコンからのデータ送出は終了していますか？ アプリケーションソフトの印刷動作は終了していますか？	▶ ・ [プリンタ] フォルダ内のRISO Printer Driverをダブルクリックして、データの送出が終了しているか確認してください。 ・ パソコンからのデータ送出が終了するまでスクリーンセーバーをOFFの状態にしてください。
	▶ パソコン上でアプリケーションソフトの印刷動作を中断しませんでしたか？	▶ 印刷機の電源スイッチをOFFにし、10秒ほどおいて再び電源をONにしてください。
	▶ プリンタケーブルが外れていませんか？	▶ パソコンからの出力をキャンセルしてください。 印刷機の電源スイッチをOFFにし、プリンタケーブルをしっかりと接続してから再び電源をONにしてください。
	▶ アプリケーションソフトでの設定（用紙サイズ、印刷の向き、プリンタドライバの選択など）とプリンタドライバの設定内容は一致していますか？	▶ アプリケーションソフトでのプリンタの設定とプリンタドライバの設定を一致させてください。  P.39
印刷機が、1枚印刷することにまた同じページを製版する	▶ アプリケーションソフトから印刷を行う際に、[部単位で印刷する]にチェックマークが付いていませんか？	▶ ・ [印刷] ダイアログボックスで、[部単位で印刷する]のチェックを外しておいてください。 ・ パソコンからの出力をキャンセルしてください。その後、印刷機の電源をOFFにし、10秒ほどおいて再び電源をONにしてください。
製版終了後、印刷が始まらない	▶ [連続モード]の設定を[OFF-製版前、印刷前ストップ]または[OFF-印刷前ストップ]にしていますか？	▶ 印刷機の<スタート>キーを押して印刷機の動作を開始してください。



状況	チェックポイント	対 応
パソコンからデータを送信しても製版が開始されない	▶ 「[連続モード]」の設定を「[OFF-製版前、印刷前ストップ]」または「[OFF-製版前ストップ]」にしていますか？	▶ 印刷機の<スタート>キーを押して印刷機の動作を開始してください。
	▶ プリントドライバは、お使いの印刷機に対応したものに設定されていますか？	▶ プリントドライバを、お使いの印刷機に対応したものに設定してからやり直してください。  P.8
	▶ 「[プリンタ]」フォルダ内の R I S O Printer Driver を開くと、データが「[印刷待ち]」または「[印刷中]」になっていませんか？	▶ パソコンからのデータ送出が終わるのを待ってください。

[印刷結果が正しく得られないとき]

状況	チェックポイント	対 応
印刷位置全体がずれたり、端が欠けて印刷される	▶ アプリケーションソフトとプリンタドライバで設定した用紙サイズは一致していますか？	▶ 両方の用紙サイズを合わせてください。 📖 P.43
	▶ 設定した用紙サイズと同じ用紙を印刷機にセットしましたか？	▶ 設定した用紙サイズ、通紙方向の通りに用紙をセットしてください。 📖 P.43
	▶ アプリケーションソフトで余白は十分にとっていますか？	▶ 印刷機では、用紙の全面に印刷することはできません。アプリケーションソフトで作成した原稿を印刷機で印刷できるように余白調整してください。
	▶ 印刷機のドラムに何らかの異常がありませんか？	▶ 印刷機の取扱説明書を参照のうえ、印刷機を調べてください。
フォントが正しく印字されない	▶ アプリケーションソフトで印刷を実行するときの設定が、[プリンタのフォントを使う] になっていませんか？	▶ アプリケーションソフトで印刷を実行するときに、[プリンタのフォントを使う] の設定を使わないようにしてください。
図形が正しく印刷されない	▶ プリンタドライバはお使いの印刷機に対応したものになっていますか？	▶ プリンタドライバがお使いの印刷機に対応したものの以外に設定されているときに編集された文書では、図形などが正しく印刷できないことがあります。適切なプリンタドライバに設定して編集をやり直してください。
画像が崩れたり、縮小されて印刷される	▶ お使いの印刷機に対応したプリンタドライバに設定していますか？	▶ お使いの印刷機名とプリンタドライバの機種名が異なると正しく印刷できません。特にRISORINC形式ファイルを作成するときは、プリンタドライバが送信先の印刷機に対応していることを確認してください。

状況	チェックポイント	対 応
[ユーザー定義用紙] ダイアログボックスで用紙登録したのに、登録した用紙が[定型用紙]のリストに表示されない	用紙登録時に [ユーザー定義用紙] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックして終わりましたか？	用紙登録を行ったら必ず、[ユーザー定義用紙] ダイアログボックスを [OK] ボタンをクリックして終わってください。 P.37
用紙サイズが[原稿サイズ:フリー]で入力した値にならない	アプリケーションソフトの用紙サイズの設定で、フリーサイズを指定できますか？	アプリケーションソフトから [用紙サイズ] をフリーサイズに指定できない場合は、[原稿サイズ:フリー] を使うことはできません。
[原稿サイズ]の[フリー]に値が入力できない	設定範囲を超えた値を入力していませんか？	使用できる用紙のサイズは、印刷機によって異なります。設定範囲内の値を入力してください。
	全角文字で入力していませんか？	半角文字が入力できる状態にして、半角文字で入力してください。
[用紙定義－追加] ダイアログボックスで長い名前が入力できない	入力文字数の制限を超えていませんか？	ボックスに収まる長さで入力してください。
[用紙定義－追加] ダイアログボックスで[幅]・[高さ]が入力できない	設定範囲を超える値を入力していませんか？	設定範囲内の値を入力してください。
	全角文字で入力していませんか？	半角文字が入力できる状態にして、半角文字で数値入力してください。
印刷部数が入力できない	設定範囲を超えた値を入力していませんか？	設定できる値の範囲は 1 ～ 9999 です。
	全角文字で入力していませんか？	半角文字が入力できる状態にして、半角文字で数値入力してください。

[その他]

状況	チェックポイント	対 応
プリンタドライバのプロパティで、用紙サイズなどの設定が変更できない。	設定項目がグレーになっていませんか？	プリンタの設定に関するフルコントロールアクセス権をお持ちのユーザーのみが設定を変更できます。
プリンタドライバのプロパティで、設定できない項目がある	設定項目がグレーになっていませんか？	プリンタドライバは、印刷機の機種別に用意されています。機種によっては、設定できる機能が限定されるものがあります。
USBメモリに原稿データを出力できない	USB メモリ用プリンタドライバを使用していますか？	プリンタドライバは2種類あります。USBメモリに出力するには、USBメモリ用プリンタドライバをインストールしてお使いください。通常版プリンタドライバではUSBメモリに出力できません。  P.26
	RISO のフォルダ構成になっている USB メモリを使用していますか？	USB メモリ内に専用フォルダを作成してください。  P.32



お問い合わせ先

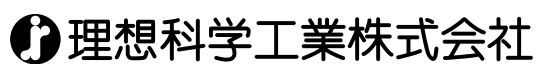
本体・オプション製品に関しては

お客様相談室 ☎ 0120-534-881

当社製プリンタドライバ/ソフトウェアの操作に関しては

サポートセンター ☎ 0120-229-330

受付時間(月～金 10:00～12:00, 13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)



〒108-8385 東京都港区芝5-34-7 田町センタービル 電話(03)5441-6666

ホームページ <http://www.riso.co.jp/>